

平成30年4月22日

洋・中・和風総飲食:高尾山

焼きそばゲッティに餃子、豚汁



稻荷山コース(松村、古川)で頂上めざします

高尾山頂からの富士



一丁平からの富士(撮影:姉山紀信)



平成25年1月13日 我々にとって黒船来航のおしゃれショック、ワイン・食器・シート・案内旗



これが我々『このブルーシートはいかん！』で目覚めた それにしても寒々しい



一丁平坂道から、ひと際映えたギンガムチェックのテーブル



純米吟醸酒の本家光本:賀茂鶴が鎮座

ワインとビールが並びフライパンをセット



竹安さんから、今回は適品、適時、適量と適口適顔で 先ずは適顔、適顔で乾杯 適顔ね！



焼きそば応援グッズとふりかけ盛り上げ隊



焼きそばゲッティ青木さんは固め固めね、桑山さんはゆるめゆるめね



『味の素:餃子』と『満州餃子:たれ』コラボ



ももいろシルバーゼット来場『インスタバエするわねえ』 インスタハエとはどんなハエ



たぬきの目の玉刺繡触ってびっくり、触っていいのは目の玉だけ



木陰でのんびり、この後はお昼寝の場所に



焼きそばゲッティに餃子で満腹、おにぎり豚汁沢庵は持ち帰りとなりました

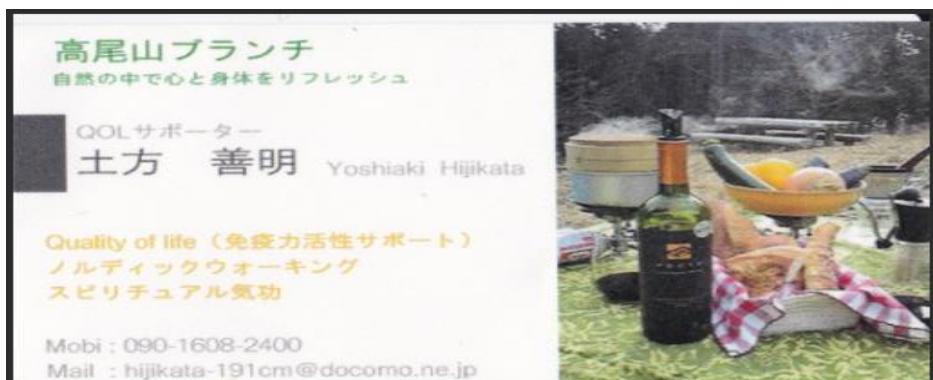


高尾山はいつも食べ疲れ、冷たいものが欲しい欲しい、体重は必ず増えている



編集後記

土方さんは高尾山ランチの匠、出会い時のショックは筆舌に尽くし難し。
山にきてここまでするか、山だからそこまでしなければならないのかと自問自答。
今はあのギンガムシートは高尾山の風物詩ともなり、人ととの出会いを演出してくれている



「あのフルーシートはダメ」と言った竹田さんのお孫さんは当時小学生でした
今高校生になってギンガムチェックシート見て「可愛い!いね」と言ってくれた。
我々はこの言葉がどれだけうれしかったか

カンブリア宮殿村上龍みたいになりました! 深谷自己流でした